

印刷ニス 「Lock3 WB OPV」
ワクシニアウイルスに対して
殺ウイルス活性の試験

定量的キャリアテストを使用した製品のスクリーニングテスト
修正ワクシニアウイルスアンカラ (MVA) に対する RK-Richtlinie (1995) に続く

-テストレポートからの抜粋：2020年12月7日付けのスクリーニングテスト S7-

試験者

PD Dr. Olaf Thraenhart and Dr. Christian Jursch

Study time: November - December 2020
Principal: dyphox® Hygiene Solutions
TriOptoTec GmbH
Am Biopark 13
D-93053 Regensburg / Germany

Eurovir Hygiene-Labor GmbH
Im Biotechnologiepark TGZ I
D-14943 Luckenwalde
Geschäftsführer: Dr. Christian Jursch
Hauptgesellschafter: PD Dr. Olaf Thraenhart

Amtsgericht Potsdam
Handelsregister-Nr.: HRB 26128 P
Steuer-Nr.: 050/108/05610
USt-IdNr.: DE 288 863 508

Mittelbrandenburgische
Sparkasse in Potsdam
SWIFT/BIC: WELA DE D1 PMB
IBAN: DE14 1605 0000 1000 9939 37

試験の目的と実施

印刷ニス Lock3 WB OPV は、光の影響下でワクシニアウイルス¹を不活化してくれる能力を試験して確認する必要があります。

この機能を試験するために、テスト片 (PVC フォイル) を印刷ニス Lock 3 WB OPV を塗布しました。その後、(Modified Vacciniavirus Ankara) 改変ワクシニアウイルスアンカラ (MVA) を含む試験ウイルス材料を塗布された試験片の表面を均一に慣らし、可視光の照射にさらしました。照射後、ウイルス物質を試験担体から回収し、ウイルスの残存量を定量化しました。

基礎となる試験は、Robert Koch-Institute (1995) および ISO 21702 (改定) のガイドラインに基づいて、室温および可視光の影響下で乾燥状態で実施されました。

試験結果

記載されている試験条件下で、試験ウイルスとして Modified Vacciniavirus Ankara (MVA) を使用した印刷ニス Lock 3 WB OPV の試験では、次のことが示されています。

- 1.印刷ニス Lock3 WB OPV を使用し、可視光を照射した後、テストウイルスの大幅な減少が記録されました。試験面でのウイルスの減少は 6.85Log を超え、99.99%を超えるウイルスの不活化に相当します。
- 2.光を照射しない場合、試験サンプルはウイルス不活化活性を示しませんでした。

判定

したがって、得られたデータに基づいて、改変ワクシニアウイルスアンカラ (MVA) に対する記載された抗ウイルス効果は、試験中の印刷ニスの光線力学的効果に明らかに起因すると結論付けることができる。

Luckenwalde, 07th of December 2020



注 1) 殺ウイルス活性に関する注釈 : EN14476 によると、Vaccinivirus は、いわゆる「限定的な殺ウイルス活性」の(唯一の)テストウイルスです。この有効性の主張には、エンベロープウイルス (HIV、HCV、HBV、インフルエンザウイルス、SARS-CoV-1 および SARS-CoV-2 [およびその他]など) に対する有効性が含まれます。